

大阪府歯科保険医協会 会武 和田 和 大阪府浪速区幸町1-2-33 電話(06)6568-7731(代表) http://osk-hok.org/ ●定価・年間10,000円 月1,000円 ●1977年5月23日第三種郵便物認可



解説する平尾社保研究部長



2024新点数説明会 大阪府歯科保険医協会

2024年度診療報酬改定

中央説明会 保険証残しての署名に列

会員1300人が参加

14日、協会は大阪国際交流センター(大阪市天王寺区)で2024年度診療報酬改定説明会を開催し、会員1300人が参加した。当日の録画は、5月10日頃から協会HPで配信開始を予定している。

小澤理事長は冒頭の挨拶にあたり、今回の改定の最大の課題点について述べた。「診療報酬は本来、医院経営の改善のためのものであり、基本診療料などを大幅に上げ、先生方の裁量で地域歯科医療を守る基盤を保障すべきものである。にもかかわらず改定率の低さもさることながら、先生方に託されるはずの人的費用など大切な医院経営に政府が介入してきたことは、到底許されないやり方だ」と

断じた。さらに、今回元々の「歯科外来・在宅ベースアップ評価料」なる施設基準を導入したが、計画や報告、その保存期間まで厳しい制約が課されたものである。医院にとって非常に使いづらいものであるにも関わらず、診療報酬改定財源のほぼ大半がこのベースアップ評価料と医療DXに使われていることは非常に重大な問題だと指摘した。政策部長の戸井逸美副理事長は今改定にあたり、協会が14日、大阪市内で2024年歯科診療報酬改定説明会を開き、玉川尚美理事が提案、拍手で確認された。全文を紹介する。

新点数説明会 5月10日頃から YouTube配信予定 次の手順に従ってご視聴ください。 1. 大阪府歯科保険医協会HPにアクセス(「大阪府歯科保険医協会」で検索) 2. HPの「会員ページ」をクリックし、ユーザー名とパスワードを入れる。(お忘れの方は毎月送付している「差引明細書」をご覧ください) 3. 最新情報の「新点数説明会動画」をクリックする 4. YouTubeが開きますので、そのままご視聴ください

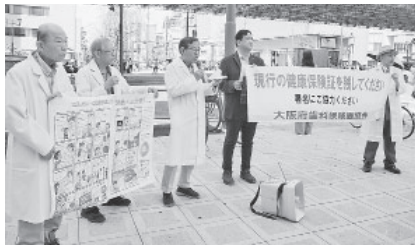


署名への呼びかけに応える市民

「保険証を残して」署名よびかけ街頭宣伝

「政府のやり方アカン」

協会では13日、なんば駅前「現行の健康保険証を残してください」署名への協力を呼びかける街頭宣伝に取り組み、役員事務局19人が参加した。マイクを握った小澤理事長は、「現在、オンライン資格確認をめぐるトラブルや機械のエラーは6割で起こっている。最悪、一度10割負担をお願しなければならぬ場面も起こってくる。マイナ保険証の更新ができておらず、保険証がないという状況も出てくる。現行の保険証がなくなれば、医療を受けたくても受けられない人が出てくる」と訴えた。署名に協力した市民からは、「政府のやり方はアカン」、「ニュースでも最近この話題をやっている。医療機関に20万円を援助する」と聞いた。医療機関からは「医療機関からマイナ保険証を勧められれば、やらないといけないのかもしれない」と思ってしまう。自分はマイナ保険証は持っていない。情報が漏れるのが怖いねん」などの声が寄せられた。



街頭で横断幕を掲げる理事役員と署名を呼びかける小澤理事長(中央)

方、大阪ではカシノの開業整備を自論んだ万博が横行されようとしている。人的物的資源が被災地ではなく、大阪・関西万博に投入されることに強い批判が起こるのだからである。無駄な万博を直ちに中止し、国は全力を上げて、被災地の復興に尽力すべきである。私たちが大阪府歯科保険医協会は、大車拡や大企業本位の政治から国民の生活と健康を守り、医療・社会保障が充実する政治への転換を目指して全力を尽くす。 2024年4月14日 大阪府歯科保険医協会 2024年度中央新点数説明会

2024年度の歯科診療報酬改定は、協会や保団連が繰り返し要請してきた項目が不十分ながらも多数の項目で私たちの要望が反映される形となった。歯科技術士への配分を明記させたこともこれまでになかった前進である。

2024年度の歯科診療報酬改定は、協会や保団連が繰り返し要請してきた項目が不十分ながらも多数の項目で私たちの要望が反映される形となった。歯科技術士への配分を明記させたこともこれまでになかった前進である。

再改定ならびに政治転換を求める 2024年診療報酬改定説明会アピール 経営を安定させるに十分な財源を手当てすることは、当然の責任である。今もなお続いているマイナ保険証をめぐるオンライン資格確認でのトラブルは、IT産業の要請として長期にわたる薬品の不安定供給を改善せず、むしろ長期収載医薬品を撤回すべきである。その背景には5年で43兆円もの大車拡路線がある。アメリカの要請によって、岸田政権は2023年度を「防衛力技術的強化の元年」とし、さらに2024年度は1兆円超も軍事予算を増額しようとしている。そのおろを受け、あらゆる分野から軍事費が捻出されようとしている。歯科医療費が20年間もほとんど横ばいであることと比べても極めて異常な状況である。能登半島地震は、今もなお上下水道の状況が改善せず、診療さえままならない歯科医療機関が多数放置されている。一方、大阪ではカシノの開業整備を自論んだ万博が横行されようとしている。人的物的資源が被災地ではなく、大阪・関西万博に投入されることに強い批判が起こるのだからである。無駄な万博を直ちに中止し、国は全力を上げて、被災地の復興に尽力すべきである。私たちが大阪府歯科保険医協会は、大車拡や大企業本位の政治から国民の生活と健康を守り、医療・社会保障が充実する政治への転換を目指して全力を尽くす。 2024年4月14日 大阪府歯科保険医協会 2024年度中央新点数説明会



2024年度の歯科診療報酬の改定率は0.57%と抑制され続けた低歯科医療費に加え、コロナによる患者減や感染対策、物価高騰などにより疲弊

も、マイナ保険証への誘導を目的とした診療報酬での評価は断じてあってはならない。本来、政府は国民の命や健康を守る医療提供体制に責任を持つべきであり、その具体化こそが診療報酬改定である。政府が、医療機関

品と後発医薬品との差額に新たな患者負担を設けるようなことは、医師の裁量や患者の受療権を奪う大改悪である。私たちは、2024年歯科診療報酬改定に抗議し、直ちに再改定を求める。このような医療費抑制

おことわり GWに伴う本紙の発行と協会事務局の休務期間は次の通りです。 【新聞】5/5付休刊 【休務】5/1、5/3~5/6

漫画家の鳥山明さんが亡くなった。漫画には疎い方だが、学生時代にDr.スランプの連載が始まり、細かい大胆な絵のタッチと設定の面白さに夢中に